



## 「土砂災害防止の集い2008」を開催しました

平成20年5月12日、近年発生した土砂災害を振り返り、今後の土砂災害対策について考えるため、「土砂災害防止の集い2008」を開催しました。

古賀省三前国土交通省国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター長による基調講演「鹿児島県の土砂災害と文化」に続き、税所篤朗南大隅町長や笹山義弘加治木町長による昨年の土砂災害の対応やその後の取り組みなどについての講演が行われました。

また、パネルディスカッションでは防災に携わる各方面の方々をパネラーにむかえ、土砂災害から生命・財産を守るための対策などについて活発な意見交換が交わされました。

県・市町村職員や建設業関係者など約450人の参加があり、参加者は今後の土砂災害防止に向けての決意を新たにしていました。

### プログラム

#### ○基調講演

「鹿児島県の土砂災害と文化」

古賀省三 前国土交通省国土技術政策総合研究所  
危機管理技術研究センター長

#### ○2007年災害を振り返って

税所篤朗 南大隅町長

笹山義弘 加治木町長

#### ○パネルディスカッション

「土砂災害から生命・財産を守るために」

<コーディネーター>

下川悦郎 鹿児島大学農学部教授

<パネラー>

水迫順一 垂水市長

岩下啓式 錦江町神川自主防災会長

山中ミチ子 曾於市末吉町メセナ福祉ネット推進員チーフ

加藤大和 NHK鹿児島放送局記者

三上幸三 鹿児島県土木部砂防課長



斉藤洋三阿久根市長による開会の挨拶



税所篤朗南大隅町長による講演



パネルディスカッション



集いの新聞記事  
(南日本新聞H20.5.13)

## 治水砂防協会鹿児島支部懇談会が開催されました

土砂災害防止の集いが開催された5月12日には、県内の31市町村長(代理含む)をはじめ、亀江幸二国土交通省砂防部長や大久保駿(社)全国治水砂防協会理事長などの出席の下、(社)全国治水砂防協会鹿児島県支部懇談会が開催されました。

亀江部長から「砂防行政の現状と課題」、大久保理事長から「中山間地を守る砂防」と題した講演をいただいた後、鹿児島県の砂防事業や警戒避難体制に関する意見交換が行われ、改めて土砂災害の防止や被害軽減に向けての共通認識を得ることができました。



懇談会



亀江砂防部長による講演

## 第3回土砂災害・全国統一防災訓練を実施しました

6月1日(日曜日)、第3回土砂災害・全国統一防災訓練を実施しました。県、市町村、消防団や地域住民など2,255名が参加し、土砂災害を想定した実働訓練や情報伝達訓練を実施しました。



住民の避難訓練(鹿児島市中福良地区)



消防による負傷者の救出訓練(鹿屋市輝北町上百引地区)

	訓練内容		参加人数	
	情報伝達	避難訓練(地区名)	行政	住民
鹿児島市	○	郡山麓、中福良	13	86
日置市	○	(別日程で実施予定)	4	
いちき串木野市	○		1	
枕崎市	○	金山・田布川	285	271
南さつま市	○	(別日程で実施予定)	2	
南九州市	○	中郡北、水垂	122	88
指宿市	○	田之畑	72	68
薩摩川内市	○	(別日程で実施予定)	3	
さつま町	○	(別日程で実施予定)	30	56
阿久根市	○	(別日程で実施予定)	241	38
出水市	○	(別日程で実施予定)	4	
長島町	○	宮之浦	113	80
霧島市	○	(別日程で実施予定)	4	
加治木町	○	日木山	23	24
始良町	○	(別日程で実施予定)	4	
蒲生町	○	白男	26	105
大口市	○	(別日程で実施予定)	4	
菱刈町	○	(別日程で実施予定)	3	
湧水町	○	(別日程で実施予定)	4	
鹿屋市	○	上百引	46	18
垂水市	○	(別日程で実施予定)	2	
東串良町	○		3	
錦江町	○	(別日程で実施予定)	3	
南大隅町	○	(別日程で実施予定)	5	
肝付町	○	(別日程で実施予定)	10	
曾於市	○	新城	104	63
志布志市	○	安楽上門	105	65
西之表市	○	(別日程で実施予定)	4	
鹿児島地方気象台	○	—	2	
鹿児島県	○	—	51	
		合計	1293	962

# 土砂災害防止月間関連行事の紹介

6月は『土砂災害防止月間』であることから、毎年、国・県・市町村が連携し、土砂災害に関する防災知識の普及と警戒避難体制の整備を促進するための各種行事を実施しています。今年度もオープニングセレモニーや、土砂災害防止月間用PR用品の配布、土砂災害防止に関するパネル展、土砂災害防止に関する作文・絵画の募集などを行いました。

## オープニングセレモニー

鹿児島市内の天文館でオープニングセレモニーを行い、土砂災害防止月間用のチラシや救急絆創膏を配布しました。



## パネル展

6月2日～13日は奄美市役所で、6月24日～7月1日は鹿児島市県民交流センターでパネル展を開催しました。



## PR用品

土砂災害を防止するための日頃の備えなどを外装に記載した救急絆創膏やチラシを配布しました。

配布用チラシ



### 命を守るのは「早めの避難」です！

平成19年7月13,14日にかけて、鹿児島県に7月の台風としては最大級の台風が接近しました。台風の接近を控え、鹿児島市では13日14日(土)15日(日)の3日間6世帯674人を対象に避難勧告が発令され、その建153戸は土砂災害警戒情報も発表されました。

台風が鹿児島県地方に最も接近した14日正午頃、鹿児島市二川地区では裏山が高さ130m、幅80mにわたって崩壊し、土石流となって崖下の人家等を襲いました。

この土石流により人家4戸と郵便局1棟が全壊しました。幸いにも崖沿いの方は、鹿児島市の避難勧告を受けて避難を行っていたため人的被害を免れました。

家4戸と郵便局1戸が全壊

郵便局が全壊

土砂災害防止月間(6月1～30日) 主催：国土交通省・鹿児島県

### 避難の仕方をも身につけておこう

おどろく土砂災害から人命や財産を守るために、国や都道府県では特防入場などの特防施設をつくる仕事が行われています。土砂災害が起るとおそれる場所すべての場所に特防施設をつくるには、たいへん時間とお金がかかります。そのため、**危険は事前に知って、おどろく土砂災害を避けておくこと、避難する場所を決めておくこと、いざというときを想定して避難、ついでに、いざというときを想定して避難**が重要です。

避難場所を覚えておくこと  
いざというときを想定して避難、ついでに、いざというときを想定して避難が重要です。

避難場所を覚えておくこと  
いざというときを想定して避難、ついでに、いざというときを想定して避難が重要です。

避難場所を覚えておくこと  
いざというときを想定して避難、ついでに、いざというときを想定して避難が重要です。

# 土砂災害防止功労者表彰の紹介

NPO法人鹿児島県砂防ボランティア協会は出水期前に砂防・急傾斜・地すべりの各施設の点検を行うなど、土砂災害から県民の生命・財産を守るために精力的な活動を行ってきました。また、地域住民を対象とした防災研修会や土砂災害防止法説明会にも講師派遣を行うなど積極的に活動を展開しています。

このような活動は自主防災組織率の向上、防災意識の向上などに活かされており、土砂災害による人的被害の回避につながっています。

このように、土砂災害防止思想の普及や土砂災害防止に大きく貢献したことが高く評価され、土砂災害防止推進の集いin本本(第26回全国大会)において「土砂災害防止功労者表彰」を受けました。



ボランティアに集った会員のみなさん

## 土砂災害対策アドバイザー 鹿児島大学工学部 北村教授の紹介

地盤工学の一分野である不飽和土質力学を専門としております。特に、乾燥・湿潤の繰り返しによって変化する不飽和土の力学特性を明らかにすることを目指しております。それらの成果は、降雨に伴う斜面崩壊等の土砂災害の発生メカニズムの解明、ハード・ソフト両面からの適切な防災・減災対策を講じるための基礎理論となります。不飽和土にはサクションという物理量が発生し、飽和土や乾燥土に比べると力学挙動が複雑になります。これまで実験的・理論的研究が数多くなされてきておりますが、未解明な問題が山積しております。現場が研究の原点です。地盤工学から安全で快適な県土づくりに貢献できればと思っております。

プロフィール

名前:北村良介  
出身地:京都府  
専攻:地盤工学



現場でのアドバイス(中央が北村教授)

## 第23回(社)全国治水砂防協会会長表彰の紹介 — 針原自治会 —

鹿児島県出水市の北西部に位置する針原地区では、平成9年7月10日未明、針原川の上流で発生した大規模な山腹崩壊による土石流により、21名もの尊い命が奪われました。

平成11年には、災害を風化させることなく、防災意識の重要性を全国に啓発していくために「針原川災害復興記念公園」が整備されました。針原自治会は、災害で犠牲となった方々の冥福を祈り、針原川土石流災害を後世へ伝えるために、同公園内に慰霊碑を建立し、公園を含めて管理しています。

また、針原自治会では「みかんの花咲く丘ウォーキング大会」を開催するほか、途絶えていた秋祭りや郷土芸能などを復活させ、「土石流災害から復興した元気な針原地区」をアピールすると共に、防災意識の啓発活動等に努めています。

このような針原自治会の活動が評価され、(社)全国治水砂防協会会長表彰を受けました。



針原自治会を代表して  
表彰を受ける古川元会長



工事完了後の針原地区

## 編集後記

今年の梅雨が、平年より7日、昨年より12日早い7月6日に明けました。昨年は、この12日間に甚大な土砂災害が大隅地方で発生したことを思い、土砂災害防止の集い、防災訓練、危険箇所の合同巡視など、備えあれば憂いなしと一息ついたところ、その2日後に沖縄本島近海を震源とする震度5弱の地震発生。県内で震度5以上を観測したのは平成13年12月に奄美大島近海の地震で震度5強を観測して以来で、やはり地震(天災)は忘れた頃にやってきました。本格的な台風シーズンはこれから、まだまだ気の抜けない季節が続いています。

(編集長 技術補佐 I・Y)

ご意見・ご感想お寄せ下さい

TEL:099-286-3616 FAX:099-286-5627

E-MAIL:sabou@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島県ホームページ:http://www.pref.kagoshima.jp/

“みんなで防ごう土砂災害”